

平成 3 0 年 6 月 7 日

喜多方市議会議長 佐 藤 一 栄 殿

提出者 長 澤 勝 幸

賛成者 小 林 時 夫

〃 田 中 雅 人

〃 齋 藤 勘一郎

〃 佐 原 正 秀

議会案第 6 号 憲法第 9 条を変更しないことを求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出します。

憲法第 9 条を変更しないことを求める意見書

戦後 70 年以上にわたり、日本は非戦を貫き、国際社会の中で平和国家として高く評価され、深い信頼を得てきたところである。

これは憲法第 9 条の存在とそれを支持する市民の意向によるものであり、憲法第 9 条の変更は戦後の日本が堅持してきた非戦平和国家日本の根本を揺るがすものとなる。

このようなことから憲法第 9 条の変更をするべきではなく、私たちは日本が再び海外で「戦争する国」になることを望まない。

よって、本市議会は、国及び政府関係機関に対し、下記事項について強く要望する。

記

憲法第 9 条を変更しないこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 30 年 6 月 7 日

福島県喜多方市議会議長 佐 藤 一 栄

【意見書提出先】

衆議院議長	大森 理森	殿
参議院議長	伊達 忠一	殿
内閣総理大臣	安倍 晋三	殿
内閣官房長官	菅 義偉	殿